

課題
TASK

遠州灘海岸は、コアシサシの繁殖地

遠州灘海岸は、絶滅危惧種アカウミガメの産卵地として有名です。本市では、1990年に「アカウミガメとその産卵地」を天然記念物として文化財に指定し、保護団体の協力のもと保護してきました。

その翌年には、舞阪海岸で絶滅危惧種コアシサシの日本最大規模のコロニー(集団繁殖地)が発見されました。

コアシサシは、環境省レッドリストで絶滅危惧Ⅱ類に指定され、日米・日露との渡り鳥等保護条約、日中・日豪との渡り鳥等保護協定に基づき国際的に保護が求められています。

毎年、初夏になると、オーストラリアなどから飛来し、舞阪海岸や弁天島のいかり瀬干潟、天竜川の中州で繁殖します。中でも舞阪海岸は、水没被害のない貴重なコロニーです。コアシサシは、砂の上や砂利の上に直接卵を産み、そのまま親鳥が抱卵し給餌をしてヒナを育てます。繁殖期に人がコロニーに立ち入り、気付かず卵やヒナを踏み潰してしまうことやいたずらする人もいるので、繁殖地を立ち入り禁止にする必要があります。

また、近年はビーチ・マリンスポーツも盛んに行われ、砂浜の利用方法が多様化しているため、保護対策が急務となっています。人が自然の中で遊ぶためには、海岸で生きる動植物の生息場所を失わないように、環境を悪化させない配慮をすることが大切だと思います。

日本の砂浜海岸で、コロニーが確認されている所は、舞阪海岸を含め2ヶ所しかありません。また、数年で繁殖地を変えるコアシサシが、30年にわたり同じ海岸内にコロニーを作っていることは珍しく、本市だけではなく、日本の貴重な財産です。

希少な渡り鳥コアシサシが、これからも毎年繁殖に訪れてくれる砂浜海岸を、末永く守っていくことが必要だと考えます。



ヒナと卵 砂の中で目立ちません



コアシサシの親子 給餌の様子

市民相談について

馬塚さやかにお声をかけてください

〇〇ってどうなってるの?〇〇したいけど、どうしたらいいの? 疑問、ご相談など、下記までご連絡ください。

皆様の地域のイベントや会合などにお声をかけて下さい。馬塚さやかが、市政のご報告やご意見ご要望を伺います。一緒に考え、市政に活かしていきましょう。



浜松市議会 市民サポート浜松 053-457-2491

〒430-8652 浜松市中区元城町103-2 浜松市役所7階 FAX 053-457-2490

sayaka.m@hamamatsu-shigikai.jp https://www.sayakamazuka.jp/



NO.8
2021年

市民サポート浜松の 浜松市議会ニュース

浜松市議会のご報告、議員活動などをお伝えします。

市民サポート浜松発行 / 〒430-8652 浜松市中区元城町103-2 浜松市役所7階 TEL.053-457-2491

発行責任者/馬塚さやか

東日本大震災から10年が経過しました。

大震災の犠牲になられた方々に心より哀悼の意を表します。

また、本年2月13日には福島・宮城で震度6強の大きな余震があり、改めて地震の怖さを思い出し、震災への備えを考える機会となりました。

今後も「市民が安心して住みやすい浜松市であるように」精一杯尽力させていただきます。



報告
REPORT

市民サポート浜松 馬塚さやかの活動報告

本年度、馬塚さやかは、常任委員会は厚生保健委員会、特別委員会は地方創生特別委員会と新型コロナ感染症対策特別委員会に所属しました。

地方創生特別委員会では、天竜区春野町の山間地にあるチョウザメの養殖場や古民家を活用した蕎麦屋など地域活性化の様子を視察に行きました。春野町は、人口およそ4,500人の過疎地ですが、企業や地域住民と高校生・大学生などが地域活性化事業に活発に取り組んでいます。コロナ禍の影響で遠くに出掛けにくい日々ですので、ぜひ自然豊かな天竜区に足を延ばして、本市の良さを再発見してください。

また、鈴木恵議員、鈴木ゆきこ議員と共に、天竜区青谷に新設される清掃工場の建設現場に視察に行きました。



新清掃工場視察 2021.01.26 (写真中央左馬塚さやか)

報告
REPORT

新型コロナウイルス 感染症について

新型コロナウイルス感染症が発生して1年、日常生活も社会も、大きく変わりました。誰もが我慢の日々ですが、感染が抑制されるまで、みんなで協力していきましょう。

本市では、2020年3月に初感染が確認されてから、2021年2月末までに感染者が1,000人を超えました。誰もが感染する恐れがあります。今後も、市民の皆さまのご協力が欠かせません。これからも、自分が感染しない、人に感染させない気持ちを忘れずに、**3密(密集・密接・密閉)**を避け、**手洗い・うがい、マスク着用**の徹底、外出先でのお食事はできる限り**黙食**を心掛けてください。

また、ワクチンの接種スケジュール等については、通知をお待ちください。感染が疑われる体調不良の場合は、☎0120-368-567 までご相談下さい。

新型コロナワクチン接種スケジュール			
2月17日~3月1日	4月1日	4月12日	4月26日~
先行医療従事者 4万人			
	その他の医療従事者 470万人		
		接種券の郵送	
			65歳以上高齢者 3,600万人
		承認済み ファイザー社製ワクチン 1億4,400万回分供給予定	基礎疾患のある方、 高齢者施設従業者など
			郵送
			一般の方

対象:16歳以上 料金:無料/全員1人2回接種(3週間隔)が必要です。

3月1日時点での厚生省による国内接種スケジュール



浜松市議会報告



市議会からの積極的な情報発信で、市民の皆様にも市議会の活動を身近に感じていただけるようにします。

報告 議会質問について

市民サポート浜松の馬塚さやかは、2021年3月11日に議会質問を行いました。本年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、市民の皆さまに議場で傍聴していただくことが出来ませんでしたので、紙面で報告させていただきます。



質問項目と答弁概要

Q1.ビーチ・マリンスポーツと文化財の海岸利用の在り方について-文化財保護、ビーチ・マリンスポーツ振興の各観点から-

●答弁者/中村文化振興担当課長

A.文化財保護の観点から:アカウミガメへの配慮と産卵に適した砂浜の維持、自然環境を保つことが大切。ビーチ・マリンスポーツ振興の観点から:砂浜を利用する競技は、内陸部にビーチコートを作るように進めている。海岸利用時は、砂浜を守りながら適切利用が重要だと認識している。ビーチ・マリンスポーツ推進協議会を通して知識を深める等、主催者に清掃などの取り組みを促すなどとし、天然記念物保護とビーチ・マリンスポーツ振興両立に努める。

Q2.希少種コアジサシの繁殖地保全と配慮について

●答弁者/影山環境部長

A.コアジサシの繁殖地を保全するため、占有区域の三方を柵で囲って保護し、市民への周知に努める。

Q3.ムクドリ対策と中心市街地の在り方、根本解決について

●答弁者/高須土木部長

A.ムクドリ対策による一定の効果は得たが、根本解決は出来ていない。今後も、新技術に着目しつつ他都市の取組や有識者の助言を踏まえ、自然との共存を視野に入れた対応を調査研究する。

Q4.プラスチック製テイクアウト容器削減のための助成について

●答弁者/鈴木副市長

A.プラスチック使用を抑制する必要があるが、コスト増とリサイクル難のため助成制度は行わない。リユースを推進し、来年度に脱プラ協力店の登録制度を作る予定。

Q5.資源物コンテナの在り方とネットへの変更について

●答弁者/影山環境部長

A.ネットの周知・設置を推進し市民の負担軽減を図る。市民への負担も考え、コンテナの軽量化など改良に取り組む。

Q6.子育て支援策、おむつ支給について

●答弁者/鈴木こども家庭部長

A.現在行う考えはないが、他都市の事例を研究していく。

Q7.仕事と両立が出来るような不妊治療のための休暇について、一般行政職員・教職員への各対応

●答弁者/金原総務部長/伊熊学校教育部長

A.一般行政職員への対応:両立ができるよう、職員団体との意見交換や国等の動向を注視し、検討する。教職員への対応:現状の制度で両立出来るように対応する。業務量の適正化を図り、管理職の理解を高め、健康的に従事できる環境と校内体制を整える。今後は、職員団体等と意見交換し市長事務局と協議する。

Q8.自宅療養者への食料品等生活支援について

●答弁者/西原保健所長

A.自宅療養者から食料品等の支援について、現時点で要望はない。静岡県が自宅療養者へ食料品等の支援を行う予定のため、県に協力をする。



●資源物(ペットボトル・缶用)コンテナをネットへ! もうちょっと詳しく①

資源物回収時に5種類のコンテナを使っている自治会が多いと思いますが、コンテナは1個3.2kgの重さがあるので、設置に苦労されている方が多いのではないのでしょうか。

そこで、資源物回収時の負担軽減と費用削減のため、軽くて扱いやすいネットへの変更を求めて議会質問をしました。

ネットには大小の2種類があり、大にはコンテナ約5箱分のペットボトルが収容できます。小のネットには、2~3箱分の缶が収容できます。

費用面でも、コンテナが1個約3,000円に対しネット大約700円、ネット小約600円と安価なため費用削減が出来ます。

皆さまも回収用ネットへの切り替えをご検討ください。また、ネットの設置が出来ない場所もあるので、変更希望の方は、まず自治会でご相談のうえ、各担当の清掃事業所にお申し込みください。



このコンテナのペットボトルは、ネット2枚で収容できます。

●子育て支援におむつの支給を! もうちょっと詳しく②

子育てが始まると、子どもの消耗品費の支出が大きいです。その代表格が紙おむつではないでしょうか?現代は、2歳児までの世帯のほとんどが、紙おむつを使っているため、おしりふきなども含め毎月約3,000~5,000円の負担になります。

また、子ども連れでかさばるおむつを買いに行くのはなかなかの重労働です。

そこで、子育て支援策として乳児のおむつ等の支給をして欲しいと議会質問で取り上げました。残念ながらすぐに導入されないようですが、すでに実施している他都市もあるので、今後も本市に働き掛けていきます。

話題 TOPICS 浜松市LINE公式アカウント「しゃんべえ情報局」について

スマートフォンをお持ちの方は、浜松市LINE公式アカウント「しゃんべえ情報局」を友だち登録しておくことで便利です。最新の感染症に関する情報が届き、「はままつLINEコロナ見守りシステム」を活用すると、感染予防に役立ちます。

また、連絡ごみの収集申し込みや子育て、年金、税金など様々な手続き方法を簡単に調べることが出来る機能がついて、24時間365日の利用が可能です。いざという時、便利に使えますので、登録をおすすめします。



LINE「しゃんべえ情報局」登録用QRコード



(1)を押すと(2)の画面が出て、チャットボットによる色々な手続き案内ができます

話題 TOPICS コロナ時代の緊急避難場所への持ち物について

東北では、2021年2月13日に大きな地震がありました。東海地方でもいつ大地震が起きるかわかりません。改めて地震対策や持ち物の点検をしてみましょう。

また、従来の避難所への持ち物(飲料水・食料・常備薬・スリッパ・寝具・身分証明書・現金・その他生活用品)に加え、新型コロナウイルス感染症対策として、マスクやアルコール消毒液、体温計の持参をお願いします。